

2019年2月6日
東海旅客鉄道株式会社

在来線 駅の発車標の改良について

在来線の駅に設置している発車標は、現在は3色のLEDで次の列車のご案内などを表示しております。このたび、改札口付近に設置している発車標について、順次、液晶ディスプレイ式に取り替えていきます。

1. 液晶ディスプレイ式の特長

- ・現在は3段である表示エリアを4段に増やすことにより、表示する情報量を拡大します。
これにより、3列車の発車案内を常に表示するほか、運行情報などのテロップを常に表示し、異常時におけるお客様へのご案内を充実することができます。
- ・LEDよりも文字をなめらかに表示し、見やすくなります。
- ・現在よりも消費電力を8割削減し、環境負荷を低減します。



種別	発車時刻	行先	のりば
新快速	17:23	米原	4
普通	17:35	岐阜	4
特別快速	17:38	大垣	4

【お客様へのお願い】 駅及び車内へ

列車の発車案内(常時3本分表示)

テロップ(ご案内) : 常時表示

液晶ディスプレイ式発車標（イメージ）

2. 対象駅

改札口に発車標を設置している駅 全96駅

※ホーム上に設置している発車標は今後もLED式を使用します。

3. 使用開始時期

- ・2019年3月 金山駅（東海道本線・中央本線）、八田駅（関西本線）
 - ・2019年度 岐阜駅（東海道本線・高山本線）や木曽福島駅（中央本線）など19駅
- ※2030年頃までに、全ての改札口発車標を取り替える予定です。